

社会科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態・学習効果測定結果の分析

	3年	4年	5年	6年
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○見学・観察等で調べたことを絵や図を使ってまとめることができます。 ○大田区の地図を見て、どの方向に何があるのか読み取ることができない児童がいます。 ○大田区の様子や特徴などの知識が定着できていない児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの単元でおおむね目標値を上回っていますが、市の様子、安全な暮らしの単元において、目標値をやや下回っています。 ○昔のくらしの様子を調べる方法や、警察の仕事についての理解が不十分です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの単元で目標値を達成していますが、都道府県の様子やくらしをささえる水の単元において、目標値を下回っています。 ○県の地形について地図を読み取ることや浄水場の仕組みについての理解が不十分です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの単元で目標値を下回っています。 ○世界の中の国土、日本の農業・水産業、工業生産の単元において理解が不十分です。
思考力, 判断力, 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○大田区の様子を捉え、場所による違いを考え、自分の考えを表現することが概ねできています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市の様子や安全な暮らしの単元において、目標値を下回っています。 ○資料に着目して、数値の関連を捉え、表現することに課題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの単元で、思考・判断・表現力が目標値をやや下回っています。 ○資料や条件に着目して社会的事象の特徴を捉え、理由を表現することに課題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての単元で目標値を下回っています。 ○資料に着目して変化を捉え、社会的事象の理由について考え、表現することに課題があります。
学びに向かう力, 人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○大田区の様子に興味をもち、意欲的に調べ、問題解決に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に興味をもち、様々なことを意欲的に調べ、問題解決に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を比較して、それに対して疑問をもち意欲的に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象について主体的に問題を解決することに課題があります。

2 課題と改善策、検証方法

	3年	4年	5年	6年
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○大田区の様子や特徴をとらえ、地図に表す力を付ける必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや資料を読み取る技能を身に付け、考察する力を付ける必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや資料を読み取る技能を身に付け、考察する力を付ける必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象についての知識を身に付け、正しく理解する必要があります。 ○グラフや資料を読み取る技能を身に付け、考察する力を付ける必要があります。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の導入で大田区の地図を活用する場面を増やし、地図に触れる時間を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや資料をどのように読み取るのかという観点を明確にし、指導します。身に付けた技能を活用して、自ら読み取れるようにしていきます。 ○地図や資料を読み取り、考える時間を確保します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや資料をどのように読み取るのかという観点を明確にし、指導します。身に付けた技能を活用して、自ら読み取れるようにしていきます。 ○グラフや資料を読み取り、考える時間を確保します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識を定着させるために、実物や映像を積極的に用いて授業を行います。 ○グラフや資料をどのように読み取るのかという観点を明確にし、指導します。身に付けた技能を活用して、自ら読み取れるようにしていきます。 ○授業で地図を活用する場面を増やし、地図に触れる時間を増やします。
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットやプリントなどで理解できているか確認していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートを回収し、社会的事象について考えたことを分かりやすく書くことができているかを見取っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中で、資料から読み取ったことをノートに書かせ、ノートを回収し、点検するとともに、児童の様子を見取っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中で、資料から読み取ったことや考えたことをノートに書かせ、ノートを回収し、点検するとともに、児童の様子を見取っていきます。

